

包帯補強 <SRF> NEWS

発行元

構造品質保証研究所

東京都港区赤坂 7-3-37

TEL03-6894-7488(代表)

ネパールの学校で SRF による耐震補強工事が行われています！

ネパール国バグマティ県シンドゥパルチョーク郡に新たに建設する小中学校で、SRFによる耐震補強工事が2016年11月より行われています。クライアントは上海の語学学校(Education First)。設計・施工をご担当されたSRF研究会会員企業は、株式会社ヨシザワ建築構造設計です。

Shree Jalpa Devi Higher Secondary School 建物データ
所在地：ネパール国バグマティ県シンドゥパルチョーク郡
階数：地上3階(教室棟)、地上2階(厚生棟) 構造：RC造
延床面積：878.85㎡(教室棟)、470.20㎡(厚生棟)
設計：柱104本 着工：2016年11月～2017年8月(予定)

ネパールは、インドプレートとユーラシアプレートの境目に位置する国であり、過去500年の歴史を見ると最大M8.8の地震が起っています。2015年4月25日、同年5月12日に発生した大地震でも多くの被害がありましたが、未だ改修工事が行われていない建物が多数あるということです。



本案件は、地震で山間部の学校が倒壊したというニュースを見た上海の語学学校が出資し、建て直しの計画が始まりました。赤道ギニアやベトナムでの海外経験と、「構造に特化



し強い建物を造る」という企業理念への共感から、2015年10月には、設計会社にヨシザワ建築構造設計が選定されました。クライアントは、地震に強い日本基準の建物を造りたいと考えていましたが、コストがかかるため断念。そこで、ネパール基準で、より地震に強い建物を安価で造ることのできるSRF工法が使用されることになりました。

設計施工をご担当されたSRF研究会会員企業の株式会社ヨシザワ建築構造設計にお話を伺いました。

Q 実際に工事を行われていかがでしたか？

ネパールでSRF工法を行うのは、初めての試みでした。指導する私たちも初めてだったので、最初の1本目は日本チームで施工しました。実際に施工することで工夫が必要な所、注意が必要な所がわかったので、現地の職人さんに、よりの確に説明できたと思います。SRF工法は、他の補強工法より比較的シンプルであり、現地の職人さんも短い時間で大まかな施工方法を覚えることができました。

Q 現地の方々や職人さんの反応はいかがでしたか？

学校の先生や地域の住民からは、学校を地震から守ってくれると好意的に受け止められ、学校のフェイスブックにもアップされました。
(<https://m.facebook.com/jhss4>)

建設重機が不足しているネパールでは手作業が多く、負担も大きいです。それに比べ、SRF工法は負担が少ないため従事したいという職人もいました。

Q SRF工法を利用してみてどうでしたか？

SRF工法は、地震に対して有効であり、施工方法もシンプルです。そのため、地震の多いアジアの国を始め、世界の様々な国でも使用してみたいと思いました。また、大型資材の運搬が困難なネパールの山間部であっても、SRFの材料であれば、小分けにして運搬することができるのがよかったです。



構造品質保証研究所

お問い合わせ、資料請求はお気軽にどうぞ

ホームページ <http://www.sqa.co.jp> Eメールアドレス square@sqa.co.jp

本部・中央研究所 〒277-0871 千葉県柏市若柴 178-4 柏の葉キャンパス KOIL 502
TEL: 04-7189-7621 FAX: 04-7189-7646

大阪事務所 〒530-0011 大阪市北区大深町 3-1 グランフロント大阪ナレッジキャピタル 8階 K818
TEL: 06-6136-3816 FAX: 06-6377-7727

福岡事務所 〒812-0018 福岡市博多区住吉 1-2-25 キャナルシティビジネスセンター8階 S808 号室
TEL: 092-273-0007 FAX: 092-273-0006